平成25年9月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 川 口 会 雅 丈

希 望 齊 藤 勝

市 民 ク ラ ブ 見 上 万 里 子

共 産 党 佐 藤 純 子

公 明 党 松 田 豊 臣

フ ォ ー ラ ム 2 1 佐 原 孝 夫

社 会 ・ 市 民 連 合 工 藤 新 一

温 修 小 原 讓

秋 水 会 佐 藤 宏 悦

秋 水 会 菅 原 琢 哉

1 市長の政治姿勢について

(1) 新庁舎建設について

ア 業者ヒアリングで明らかになった入札不調の要因と分析結果について

イ 入札不調後の市民に対する説明と民意の把握について

ウ 市場価格及び予定価格に対する現状認識について

(ア) 復興需要の本格化等に伴う労務費及び材料費の高騰状況について

(イ) 市場価格と予定価格の乖離について

エ 総事業費について

(ア) 新庁舎本体工事、本体関連工事及びその他関連工事の変更内容はどうか、また、変更による縮減額は幾らか

(イ) 各工事内容の見直し等により、消費税を除き当初予算内におさめたいとのことであるが、今後、消費税率の変更分以外の増額補正はないという理解でよいか

オ 再々公告に向けた対応について

(ア) 再々公告の時期と発注方法を含めた対応方針について

(イ) 地元経済に対する波及効果について

(ウ) 3回目の入札に向かう決意はどうか、また、万が一入札が不調となった場合は、庁舎本体の設計変更も検討されるのか

(2) 県都『あきた』成長プランについて

ア 同成長プランに掲げている理念の実現に向け、中間期の現在の状況をどのようにとらえているのか

2 地域防災について

(1) 秋田県の地震被害想定調査の結果をどのように受けとめているのか、また、地域防災力の向上を図るため、どのように取り組んでいるのか

(2) 避難所運営訓練等について

ア 大規模災害を想定した宿泊を伴う避難所体験訓練を実施すべきと思うかどうか

イ 東日本大震災の教訓や地域防災計画の見直しを踏まえ、現行の避難所開設・運営マニュアルを見直すべきでないか

3 広報活動の充実について

(1) 広報あきたについて

ア 市民ニーズが多様化している中で、広報あきたが果たすべき役割をどのように認識しているのか

イ 市からの一方的な情報提供だけではなく、本市の課題について広報で取り上げ、市民と共有することも必要ではないか

(2) データ放送による全市域を包括する情報通信システム等を早期に構築すべきと思うかどうか

4 地域における職員の役割等について

(1) 地域や町内会活動等への職員の参加状況はどうか、また、地域から求められる職員の役割をどのように認識しているのか

(2) 職員の能力を地域でも発揮できるような体制づくりについて、市としてどのように取り組んでいるのか

5 中心市街地の未来ビジョンについて

(1) 千秋公園を核とした観光施設の整備及び関連したソフト事業の充実について

6 I R（特定複合観光施設）の誘致について

(1) 安倍首相が目指す（仮称）I R推進法案に対する市長の見解はどうか

(2) 誘致した場合の経済波及効果を試算する考えはないのか

7 トップスポーツクラブについて

- (1) トップスポーツクラブがもたらす地域活性化の効果をどのように分析しているのか
- (2) 市民の盛り上がりを助長するためにもさらなる支援が必要と考えるがどうか

8 少子化対策について

- (1) 出生率向上につながる具体的な施策について

9 地域の諸課題について

- (1) 川尻広面線拡幅事業における本市の立ち位置と取り組みについて
- (2) 市道大堰反線の渋滞緩和及び歩道整備の早期実現に向けた取り組みについて

1 新庁舎建設について

- (1) 入札を二度中止することになったが、市長は入札参加要件についてどのように認識しているのか
- (2) 今後の方向性について
 - ア 3回目の入札により、業者は必ず決定すると確信しているのか

2 アベノミクスについて

- (1) アベノミクスが本市にもたらす副作用についてどのように考えているのか
- (2) 大都市圏と地方の地域格差が今後も一層広がっていくことが考えられるが、本市としてどのような対応をとるつもりなのか

3 本市のまちづくりについて

- (1) コンパクトシティの実現に取り組んでいる他市において、想定どおりに進捗していない状況が見受けられるが、本市としては、今後、どのように取り組んでいくのか
- (2) 中心市街地活性化基本計画の基本コンセプトである「千秋公園と連携した城下町ルネッサンス」を意識しつつ、今後、新たに施設等の名称をつける際には、旧町名を取り入れるなど、高齢者にも理解しやすい名称にしていく考えはないか

4 学校トイレの洋式化について

- (1) 予算を増額し、洋式トイレの整備をスピードアップしていくべきと思うがどうか

5 水道事業等について

- (1) 本市の水源は未来にわたり安定的に確保できると言えるのか
- (2) 水道料金の値上げの必要性はどうか

(3) 漏水問題について

ア 漏水の補修工事をめぐって、市民とのトラブルはあるのか

イ 漏水の防止対策としてはどのようなものが考えられるのか、また、その対策にかかる費用は年間でどのくらいとなる見込みか

(4) 水道管の耐震化及び老朽管対策の進捗状況と完遂の見通しはどうか

(5) 本市の水道事業の将来にわたる構想として、第三セクター等への移行の可能性はあるのか

(6) 雨水利用の啓発をしていくべきと思うがどうか

6 千秋公園のお堀の水質浄化について

(1) お堀の水質浄化について、より効果的な手法を検討すべきと思うがどうか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 市長公約にある「県との連携による老朽化した文化・スポーツ施設の再編整備」について、文化施設は整備の検討に着手しているが、スポーツ施設はどのように考えているのか、また、この公約は多くの市民に正しく伝わり、理解されていると考えているのか

2 公共施設のあり方について

(1) 新庁舎建設について

ア 入札時期がおくれることによって消費税負担が増となるおそれがあるが、その場合の予算措置についてどう考えているのか

イ 3回目の入札公告を行うとのことであるが、入札参加要件を市内企業を含まない共同企業体まで緩和するのか、また、その場合の地元経済への波及効果をどう考えているのか

ウ 仕様等の見直しに当たって、民間企業にスポンサーとして資材や設備などの提供を募ってはどうか

- (2) 公共施設の新設及び更新に当たっては、将来の推計人口を考慮した適正な規模となるように計画しているのか

- (3) 本市のすべての公共施設の概要や方向性等を盛り込んだ公共施設白書を作成し、市民に公共施設の現状を知ってもらった上で、今後の公共施設の建設について考えていくべきではないか

- (4) 図書館施設を見直し、美術作品や歴史資料などの展示コーナー及び飲食スペースを拡充し利用促進を図ってはどうか

3 除排雪について

- (1) 本市の除排雪に支障を来すのはどのような積雪状況となった場合か、また、そうした状況を市民に伝えた上で、除排雪に対する理解と協力を求めるべきではないか

- (2) 通学路一斉除雪や除雪ボランティアなど、市民と一体となった取り

組みをさらに進めてはどうか

(3) コールセンターのあり方について

ア 市民が除排雪の要望について電話をする時、どのような対応を期待していると考えているのか

イ 本市がコールセンターに対し、特に期待する役割は何か

4 高齢社会に対する本市の考え方について

(1) 介護保険料の負担と介護サービスの保険給付のバランスをどう考えているのか

(2) 「エイジフレンドリーシティ構想」などのカタカナ表記をやめ、高齢者にもわかりやすい言葉に置きかえるべきではないか

5 子供・若者の自立支援について

(1) 社会生活を円滑に営む上で困難を有する子供・若者の自立を支援するため、専門部署と「子ども・若者支援地域協議会」を設置してはどうか

6 民間企業と行政の協働について

(1) 民間企業との情報交換や、本市施策への協力を得るための営業活動などを行う連携コーディネーターを各部局で育成してはどうか

(2) 民間企業のノウハウや資材・設備などの提供を受けて活用し、それを金額換算することで、見える化してはどうか

1 市長の政治姿勢について

(1) 核兵器の廃絶について

ア 安倍首相は「核兵器の非人道性を訴え核兵器廃絶を求める共同声明」に署名しなかったが、署名しなかったことを市長はどう思うか

イ 市民団体が求めた「核兵器全面禁止アピール」賛同のお願いにいまだに署名していないのは、同意できないためか

(2) 集団的自衛権について

ア 現憲法下の解釈改憲で集団的自衛権の行使の動きがあるが、市長の見解はどうか

(3) 消費税増税について

ア 経済が回復していない中で、消費税増税の中止を求める考えはないか

(4) 保育について

ア 「子ども・子育て支援新制度」によって、これまでの保育水準が低下することに加え、国・自治体の責任が後退するが、国に対し凍結を求めるべきではないか

2 新庁舎建設について

(1) 再々公告は、広く市民の意見を聞き、拙速に進めるべきではないと考えるがどうか

(2) 施設規模と総事業費を変更せずに新庁舎建設を進めることは、市民や議会の理解が得られないと考えるがどうか

(3) 新庁舎の機能を見直し、既存施設の活用などを含め、設計そのものから再検討すべきではないか

3 地域経済の振興について

(1) 市内経済の活性化に向け、秋田市中小企業振興条例を制定する考えはないか

(2) 市の施策に反映させるため、中小企業者の実態調査を行う考えはないか

(3) 店舗等の改修に対する助成制度を創設する考えはないか

4 介護保険について

(1) 必要なサービスが受けられるよう利用料の軽減を図る考えはないか

(2) 保険料の引き下げを行うべきと考えるがどうか

(3) 国に対し負担割合の増額を求める考えはないか

5 市民の健康について

(1) 高齢者の感染症対策について

ア インフルエンザ定期予防接種への助成額の拡大をすべきではないか

イ 肺炎球菌ワクチン予防接種への助成をする考えはないか

(2) 脳ドック検診へ助成する考えはないか

(3) 猛暑対策について

ア 低所得者世帯や生活保護世帯へのエアコン設置に対する助成を検討してはどうか

イ 各小中学校の教室へのエアコン設置を計画的に進める考えはないか

6 社会参加が困難な若者の自立支援について

(1) 市が主体となって就労の場を提供するなど、強力に支援すべきではないか

(2) 相談窓口を広報などで周知するとともに、専任職員を配置する考えはないか

(3) 自立に向け動き始めている若者へ交通費などを支給する考えはないか

1 地域経済の活性化について

(1) 電気料金値上げに対する中小企業支援について

ア 9月1日から東北電力の電気料金が値上げされたが、本市経済及び中小企業への影響をどのように認識しているのか

イ 本市の中小企業に対する支援策について

(2) 事業系食品廃棄物等の再生利用について

ア 本市における事業系食品廃棄物等の排出量はどのくらいか、また、その再生利用の状況はどうか

イ 食品廃棄物等の再生利用には、メタン発酵ガス化バイオマス発電事業が有効と考えるが、本市における事業化の認識はどうか、また、事業化に対する支援策はどうか

(3) 6次産業化振興策について

ア 農林漁業者の経営支援に向けて国主導で設立した農林漁業成長産業化支援機構による地域ファンドの活用を促進すべきと考えるがどうか

イ 6次産業化による新たなビジネスを創出するためには、その担い手である人材の育成と連携・協力体制を確立するプラットフォームづくり及びブランド化を支援すべきと考えるがどうか

ウ 米依存型農業から園芸作物へ転換し、生産拡大をより積極的に図るべきと考えるが、本市の現状はどうか、また、どのように拡大を図るのか

2 新庁舎建設について

(1) 新庁舎建設工事の再公告における入札中止について

ア 設計図書を貸与した企業からのヒアリング内容及び分析結果を公表すべきと考えるがどうか

イ 入札不成立となった要因の一つとして材料費や労務費の高騰を挙げているが、市場価格をどのように調査しているのか

ウ 共同企業体の組成が成立に至らなかったことについてどう分析しているのか、また、発注形態の変更を希望する意見に対する本市の考えはどうか

(2) 今後の対応について

ア 新庁舎本体の仕様及び新庁舎本体を除く関連工事の見直しを行うとしているが、見直し内容及びその根拠を市民に明示すべきと考えるがどうか

イ 今後予定される消費税増税分も含めて継続費の総額以内におさめるべきと考えるがどうか

ウ 入札参加要件の見直し内容について

エ 平成27年度完成に向けての工程について

3 防災・減災対策について

(1) 本市における要援護者名簿の整備状況及び今後の対応はどうか

(2) 避難所における医療サービスの提供等を含む生活環境の整備状況及び整備計画について

(3) 地域や学校における防災力の向上について

ア 防災力向上に向け、地域ごとの被害想定を踏まえた防災訓練を実施すべきと考えるがどうか

イ 学校において「自助」の養成と「共助」を啓発する「防災教育」の教科化をすべきと考えるがどうか

4 障がい児者支援について

(1) 発達障がい児者支援について

ア 発達障がい児に対する就学前から学齢期への支援の継続性が重要と考えるが、本市の対応はどうか

イ 発達障がい児者の就労支援対策及び企業・地域への啓発について

ウ 発達障がい児者の休学及び休職療養中並びに就業訓練中における支援について

(2) 聴覚障がい児者支援について

ア 携帯電話による聴覚障がい児者向け「モバイル型遠隔情報保障システム」である遠隔文字通訳を活用し、コミュニケーション支援をすべきと考えるがどうか

5 健康づくりについて

(1) 健康寿命延伸対策について

ア 市民の健康寿命を延ばすためのこれまでの取り組みについて

イ 市民が健康づくりに励むことで医療費や介護費の抑制につながるほか、地域コミュニティーや地域経済活性化など人づくりやまちづくりにつなげていくことが期待できる「健康マイレージ制度」を導入すべきと考えるがどうか

6 いじめ防止対策について

(1) いじめ防止対策推進法の制定を受け、本市における地域いじめ防止基本方針の策定状況はどうか

(2) いじめ防止のために、学校、児童相談所及び警察などの担当者と構成される連絡協議会を設置し、連携を強化すべきと考えるがどうか

(3) 地域社会全体でいじめ根絶に取り組める体制をつくり、情報を共有できる仕組みを検討すべきと考えるがどうか

7 地域の課題について

(1) 御所野地区におけるコミュニティー機能を有した児童センターについて

ア 地域の実情に即した施設の整備について

イ 施設の概要及び整備時期について

1 市政経営について

(1) 市長1期目のキャッチフレーズについて、市民はどのような覚悟を決めたと認識しているのか

(2) 2期目のキャッチフレーズである「手をつなぎ ともに大転換の向こうへ」とは、だれと手をつなぎ、どこに向かおうとしているのか

(3) 本市はコンパクトシティを標榜しているが、人口減少や高齢化が進んでいることから、一層コンパクトなまちづくりを目指すべきではないか

(4) 将来の市民の暮らしと社会保障はどのようなになると推測しているのか、また、市民に痛みを求める胆力はあるのか

(5) 新庁舎建設について

ア 二度の入札中止という事態について、市長みずから市民及び議会に対して説明するよう会派として要望しているが、今般の市長説明がそれに当たるという認識でよいか

イ 業者ヒアリングの内容及び市の分析結果などの公表はいつ行うのか、また、市民及び議会に対して丁寧な説明を行うべきと考えるかどうか

ウ 昨年度までは、市外企業を含めた共同企業体で入札を行うとの説明であったにもかかわらず、ことし5月の公告において市内企業みの共同企業体に限定した理由は何か、また、それを決定した時期はいつか

エ 二度にわたる入札中止という事態は、市政経営者として見通しに甘さがあったものとするが、判断に間違いはなかったと認識しているのか

(6) 油谷これくしょんについて

ア 油谷氏が収集した約50万点のコレクションのうち、市に寄贈された約20万点は、だれがどのように選別したのか、また、残り約30万点についても、さらに寄贈される見通しはあるのか

イ 収蔵品の破損のおそれや経費がかかり増しすることを考えると、移動展示や貸し出しは行うべきではなく、現在の保管施設で展示方法を工夫して行うべきではないか

ウ 油谷これくしょんに関連した予算の支出状況と今後の見込みはどうか、また、予算の支出に対する市民理解は得られていると認識しているのか

(7) 新電力の導入について

ア 特定規模電気事業者から電力を購入している市内の官公庁について

イ 経費削減の一環として、新電力を導入すべきと考えるがどうか

(8) 人事行政について

ア 女性管理職を積極的に登用すべきと思うがどうか

イ 学歴にかかわらず、有能な職員は積極的に昇格させるべきと思うがどうか

ウ 事務処理ミスや不祥事を起こした職員は、昇格がおくれると聞いているが、二度とチャンスはないのか

エ 仕事の成果に対する評価は適正に行われているのか、また、職員のやる気を高めるために、褒めることはしているのか

(9) 情報化施策について

ア クラウド化の検討状況及び見通しはどうか

イ 任期付職員として採用したICT推進担当課長の具体的な役割は何か

2 港湾を取り巻く諸課題について

(1) 来年の竿燈まつりの期間に、世界最大級の豪華客船ダイヤモンド・プリンセス号が寄港すると報じられているが、喫水の深い船の秋田港への着岸について問題はないのか

(2) 北前船寄港地フォーラムの開催について

ア 平成26年4月の秋田市開催を受諾したとのことであるが、本市の役割をどうとらえているのか、また、予算の確保等を含めた今後の

スケジュールはどうか

(3) シーアンドレール構想について

ア 同構想の進捗状況はどうか、また、同構想がもたらす経済効果をどのように認識しているのか

イ 新航路の開設に向けて、海外や船会社等に対し、どのような働きかけを行っているのか、また、見通しはどうか

ウ 秋田港新国際コンテナターミナル利用者からの要望等を踏まえ、ガントリークレーンなどの設備の増設に向けて、国や県にどのように働きかけているのか、また、見通しはどうか

エ 秋田港と日本海沿岸東北自動車道を結ぶアクセス道路の整備について、国と県との協議内容と結果はどうか

オ 港湾を利活用している民間企業の現状をどのように把握しているのか、また、市として実効性のある支援をすべきと考えるがどうか

カ 港湾内に線路があることで冬期間の除排雪に難儀している状況をどのように認識しているのか

(4) 秋田港周辺のにぎわい創出について

ア 道の駅「あきた港」に鮮魚センターの設置が必要と考えるがどうか

イ 親水性を高めるためにも、家族や恋人同士が憩える海釣り公園の整備が必要と考えるがどうか

(5) LNG基地を活用した秋田湾産業新拠点の整備に対する市の考え方について

(6) 不法係留されているプレジャーボートや小型漁船の問題は解決したのか

3 教育行政について

(1) 教育長の「教師の教師は子供たち」との発言に込められた思いについて

(2) 平成25年3月に策定された新教育ビジョンに対する教育長の見解はどうか、また、同ビジョンの推進に当たり、どのような施策を考えて

いるのか

(3) 教育委員会制度について

ア 全国知事会が国に提出した現行制度の見直しに関する意見について、教育長の見解はどうか

イ 市教育委員会では、子供にかかわる事件や事故等を未然に防止するためにも、常に市長部局と情報を共有する必要があると考えるかどうか

ウ 現行の教育委員会制度において、教育長の位置付けをどのように考えているのか

(4) 漫画「はだしのゲン」の閲覧制限問題に対する教育長の認識はどうか

(5) 兵庫教育大学では全市町村の教育長を対象に実施したアンケート調査結果から、教育長を4つのタイプに分類しているが、本市の教育長はどのタイプなのか

1 除排雪対策について

- (1) (仮称) 秋田市ゆき総合対策基本計画(案)の策定の中で明らかになった課題は何か
- (2) 通学路及び歩道の除排雪出動の優先度について
- (3) 故障等により稼働しない融雪施設はどのくらいあるのか、また、今後の改修計画はどうか
- (4) 除雪車両に設置するGPSについて
ア インターネットを使い、市民に除雪車両の位置情報を公開することに問題はないのか、また、見直すつもりはないのか

2 まちづくりについて

- (1) 外旭川地区への出店計画が報道されている複合型ショッピングモール構想について、市がこれまで進めてきた中心市街地の活性化計画と整合性が図られるのか
- (2) 既存商店街の現状を踏まえ、地域住民が利用する施設を地域の核とした新たなまちづくりを進める考えはないのか

3 南寧市「秋田ショップ」について

- (1) 現在の状況を精査し、損失が拡大しないうちに、早期に撤退すべきと考えるがどうか

4 防災体制について

- (1) 緊急時における市職員の初動体制のあり方について、原則として最寄りの市民サービスセンター等に出動し、状況把握と救援活動に当たるべきと考えるがどうか
- (2) 市役所アマチュア無線クラブと緊急時の協定を締結しているが、どのように連携するのか
- (3) 緊急時においてはアマチュア無線従事者免許保持者及び無線局と連

携し、より迅速で広範な状況把握に努めるべきと考えるがどうか

5 木質バイオマス等の利活用及び地場産業の構築について

- (1) 公共施設への木質ペレットボイラーの導入を図るべきと考えるがどうか
- (2) 民間事業所への木質ペレットボイラーを普及させるために、設置費用の一部に対して助成する考えはないのか
- (3) 森林資源が豊富な本市に木質バイオマス関連企業や研究機関を誘致し、総合的な産業構築を目指すべきと考えるがどうか、また、その課題はどうか
- (4) 木質バイオマスを燃焼活用する際には、燃焼後の灰の放射性物質検査を実施するとともに、その安全対策を講ずるべきと考えるがどうか

6 公立小学校におけるフッ化物洗口事業について

- (1) 秋田弁護士会の「フッ化物集団洗口事業に関する意見書」をどのように受けとめ、事業に反映させるのか
- (2) 保護者説明会への参加率が非常に低いが、その現状をどのようにとらえ、改善に努めているのか
- (3) 当事者が自己決定できる教育環境をどのように考え、本事業で具体的に実施するのか
- (4) 教育現場で自己決定できる能力を身につけるということは、どのような教育的な位置づけ、内容で具体化されるのか

7 中心市街地循環バス運行事業について

- (1) 新庁舎の完成に合わせて、循環バスの運行コースを新庁舎や市立病院前まで延伸してはどうか
- (2) 秋田駅から県庁市役所間の路線バスの運賃も循環バスの運賃と同額の100円とするよう事業者と協議する考えはないのか

8 ぽぽろ一どのバリアフリー化について

(1) ぽぽろ一どに車いす利用者用スロープを設置できないのか

1 成長戦略について

(1) 安倍政権による成長戦略をどのように評価しているのか

2 行政組織のあり方について

(1) 職員の能力を発揮させることができる組織風土のあり方と職員の理想像について

(2) 組織の質を高め、規模を小さくしていくために、民間の力を活用すべきと思うがどうか

3 県都『あきた』成長プランについて

(1) 推進計画の進捗状況について、また、計画どおり進んでいない事業の課題と対応策について

(2) 雪に強いまちの確立について

ア 道路の除雪に関する市民の満足度について、平成27年度の目標を50%に設定した根拠はどうか、また、目標が低すぎるのではないか

(3) 家族・地域の絆づくりについて

ア 秋田市が目指す絆について

イ 絆づくりの意識啓発のために取り組んでいる事業の成果について

4 秋田市民憲章について

(1) 市民憲章の学習指導の実施状況とその成果について

5 新庁舎建設について

(1) 入札の中止以降、変更になった仕様等の内容はどうか

(2) 現在見込んでいる新庁舎のランニングコストは幾らか、また、現在見直しを進めている仕様等の変更により、どの程度の影響が出るのか

(3) 公用車管理の見直しについて

ア 公用車地下駐車場を取りやめ、地上部への整備に変更できないの

か

イ 公用車駐車場のスペースの縮小等を図るため、特殊車両以外については、リースなどの導入を検討できないのか

6 大森山動物園について

- (1) これまで取り組んできた子供たちへの教育活動の課題と今後の展望について
- (2) 動物園による教育効果を、教育委員会ではどう評価し、今後の活用をどう考えているのか

7 中学校の部活動について

- (1) 生徒が減少しているが、部活動の現状についてどのように認識しているのか
- (2) 競技力向上のための事業を創設すべきではないか、また、大会参加に係る補助金を増額すべきではないか
- (3) 秋田市中学校体育連盟に対し、補助金を増額するなどの支援強化を行う考えはないか

8 地域の諸課題について

- (1) 金足地域における消火栓の整備計画について
- (2) 金足地域センターをコミュニティセンター化せず、増築する考えはないのか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 先般の参議院議員選挙の結果が本市に与える影響と今後について
 - ア ねじれ現象が解消された国会への評価と期待について
 - イ アベノミクスが本市経済にどのような影響を与え、それに伴い本市はどのように変われると考えているのか

2 パブリックコメントについて

- (1) パブリックコメント実施の効果的な周知方法について、どのように考えているのか
- (2) パブリックコメントの募集期間や閲覧場所の選定など、実施方法は全庁的に統一されているのか
- (3) 市民から寄せられた意見等はどのように生かされているのか、また、市民はどのように確認できるのか
- (4) 現状のパブリックコメント制度の問題点とその対応策について、どのように考えているのか、また、パブリックコメント制度以外に、効率的に市民意見を集約する方法は考えられないのか

3 軽自動車に係る継続検査用納税証明書について

- (1) 口座振替を利用している納税者に、継続検査用納税証明書が一定期間届かない現状について、どう認識しているのか
- (2) 口座振替を利用している納税者の継続検査用納税証明書の有効期限を、10日ほど延長すべきと思うがどうか

4 長期居住外国人へのマナーの周知について

- (1) 住民基本台帳法の改正により、長期間にわたり滞在する外国人は住民登録をしなければならないが、その際、ごみの出し方について、複数の外国語を用いたパンフレットを作成し、配付する考えはないか

5 高齢者の社会参加について

- (1) エイジフレンドリーシティ実現のためのこれまでの取り組みと課題について
- (2) 高齢者が利用しやすい公共交通機関の整備状況と今後の取り組みについて
- (3) 高齢者の社会参加に関する情報提供はどのようにされているのか、また、その方法は、高齢者にとってわかりやすく適切なものと考えているのか
- (4) 日ごろから地域活動に参加する機会が少ない若い世代と高齢者との接する機会をどうつくっていくのか
- (5) ふえ続けるひとり暮らしや社会から孤立している方など、予防を含めた閉じこもり対策は、どのように実施されているのか

6 家庭系ごみ処理手数料の使い道について

- (1) 家庭系ごみ処理手数料の使い道のうち、ごみ減量に関する施策として、生ごみ処理の普及推進、ごみ減量の情報発信、集団回収の普及促進などが挙げられているが、その効果をどのように認識しているのか、また、効果を検証し、今後のごみ減量にどう取り組んでいくのか
- (2) 不法投棄対策及び不適正排出対策に取り組んでいるが、有料化の前後で状況の変化はどうか、また、今後の取り組みに関する考え方はどうか
- (3) 家庭系ごみ処理手数料相当額を、どのような考え方に基づいて環境施策に充てているのか
- (4) 家庭系ごみ処理手数料については、見える化を図る際、広報等を通じ、詳細にわたって情報を発信し、市民理解を得るべきと思うがどうか

7 農業行政について

- (1) 安倍内閣が打ち出した農業に関する成長戦略に対する評価はどうか、また、市としての対応をどのように考えるのか

- (2) 10年前に比べると販売農家戸数が加速度的に減少しているが、今後の予想はどうか、また、その対策をどう考えているのか
- (3) 担い手の確保・育成状況と今後の計画について
- (4) 集落または地区の農家の話し合いによって、人と農地の問題を解決するための取り組みの現状と課題について
- (5) 6次産業への新規参入者の多くが、2次及び3次産業からの参入であるが、その現状について、どう認識しているのか
- (6) 日本の農業の将来を見据え、1次産業のリーダーとして農協に何を期待し、どのような関係を築いていこうと考えているのか
- (7) 秋田のべこ「義平福」について
 - ア 県産種雄牛「義平福」の好成績をどう評価し、ブランドイメージのアップも含め、本市肉用牛振興への支援は強化されているのか

8 コンパクトシティについて

- (1) コンパクトシティのコンセプトについて
 - ア 都市密度を高めることは、除排雪経費のかかり増し、災害時の対応の難しさ、交通渋滞の発生、駐車場確保の困難さなど、デメリットしか思い浮かばないが、都市密度を高めなければならない理由と効果は何か
 - イ 本市のように市域が広い都市において、なるべくとはいえ自動車を使わないということは考えられないが、その意味するところは何か
 - ウ 都市間は公共交通ネットワークで結ぶとあるが、これは都会型であり、地方都市にはなじまないと思うがどうか
 - エ コンパクトシティの考え方は、今の時代の潮流にそぐわないと思うがどうか
- (2) 本市の中心市街地の再生とにぎわいの創出は、再開発事業と多くの方々の努力により継続しているイベント開催によるものであり、コンパクトシティの取り組みは何ら効果がなかったと思うがどうか
- (3) 本市の現状を踏まえれば、既に開発された郊外の住宅地及びその周

辺に限り、コンパクトシティのあり方を見直す考えはないか

(4) 本市は、コンパクトシティが実現しやすい条件に合致していると考えているのか

(5) コンパクトシティを標榜してから今日に至るまで、その実現のための取り組みはどのようなものであったのか、また、その費用対効果をどのようにとらえているのか

9 本市における読書環境について

(1) 開館当初、全国モデルとも言われた「明德館」を中心とする市立図書館の利用状況や本の貸出状況はどうなっているのか

(2) 移動図書館「イソップ号」と2カ月に一度の配本に関する実績と今後の考え方はどうか

(3) 市立図書館の図書資料整備経費は、10年前に比べ3分の1程度に落ち込んでいるようだが、その理由は何か、また、このような状況で、教育立市秋田市の読書環境の整備を推し進め、良書に出会いたいという市民の要望に十分にこたえていけるのか

(4) 「秋田市子ども読書活動推進計画」に基づいた各種施策の進捗状況はどうなっているのか

10 カモシカの食害対策について

(1) カモシカ防護網の配布は、なぜ年々減っているのか

(2) 被害調査の実施や対策をどう考えているのか

1 市政運営について

- (1) 市長選挙において40項目の公約を掲げているが、その優先順位は市民に十分に伝わっているのか
- (2) 少子高齢化に対して、どのような実効ある対策を行っていくのか
- (3) 将来的な労働力人口の減少による歳入への影響をどうとらえているのか

2 安全で安心して暮らせるまちづくりについて

- (1) 住宅用火災警報器の設置が義務づけられたが、普及状況と未設置対策はどうか

3 縣市連携について

- (1) 現時点での縣市連携文化施設についての方向性はどうか

4 公共施設マネジメントについて

- (1) 土崎地区と新屋地区からの要望について、どのように考えているのか、また、土崎・新屋まちづくり基本構想策定への各地域のかかわりはどうか
- (2) 今後、建設する公共施設について、どの程度マネジメントされているのか

5 中心市街地について

- (1) 「にぎわい交流館」のフルコンサートグランドピアノの稼働状況とその評価はどうか
- (2) 国が来年度に創設を予定している「重点支援区域」制度の認定を目指すべきではないか

6 工事に係る専決処分事項の運用について

(1) 工事の変更契約に係る専決処分は1,500万円以内としているが、その運用は適切に行われているのか

7 セキュリティー対策について

(1) 本市に対してサイバー攻撃はあったのか、また、その対策には常に最新の態勢が必要と思うが専門知識やソフト・ハード面の対応はどうか

(2) 市内におけるセキュリティー対策や不適切なインターネット利用のチェックはどのように行われているのか

8 市民の健康と福祉について

(1) がん検診や特定健康診査の受診率の推移はどうか、また、受診率向上のための具体策はあるのか

(2) ネット依存等による子供たちへの影響をどうとらえ、どのような対策をすべきと考えているのか

(3) 介護老人福祉施設の待機者の現状とその対策はどうか

9 職員の採用について

(1) 公務員希望者が民間企業と並行して就職活動ができるように、職員採用試験のタイミングを見直ししてはどうか

(2) 職務経験者の採用職種を行政のみでなく、専門職や資格職にも広げるべきと思うがどうか

(3) 任期付専門職員を採用する必要性は何か、また、これまでの実績はどうか

10 子育て支援について

(1) 幼稚園保育料の補助金は年度末に支払われるが、保育園と同様に補助するべきではないか

11 コミュニティセンターの指定管理について

- (1) 保険料と各種設備保守点検料は指定管理料に含まずに、市が直接支払うべきではないか

12 環境美化ボランティア袋について

- (1) ボランティア袋の利用状況はどうか
- (2) ボランティア袋に記載している使用のルールより、町内会長への通知の方が拡大解釈して使用できると思えるが、市民には本来の使用目的が伝わっているのか